

区 の 補 助 計 画 等 の ま と め	1 行財政運営分野の政策課題	2 課題解決に向けた施策の方向性
	<p>(1) 目黒区の人口構成(生産年齢人口減少・高齢者人口増加)の変化を見据えた施策の転換期が訪れることから、その時々々の社会経済状況における行政ニーズへの的確な対応が必要となる。</p> <p>(2) 職員の超過勤務が常態化している中、生産年齢人口の減少により職員数の確保は益々困難になり、ベテラン職員の大量退職による組織力・人材の弱体化が見込まれることから、職員一人ひとりの生産性・能力の向上、組織力の強化が必要となる。</p> <p>(3) 区有施設の老朽化に伴う施設更新コストの増加により、施設整備費の不足が予想されることから、老朽化した施設の適切な更新、施設数の削減、施設コストの抑制、安全・快適さの確保が必要となる。</p>	<p>【5年後・10年後】</p> <p>(1) その時々々の社会経済状況における行政ニーズへの的確な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新たな事業の創出を目的とした既存事業の廃止・縮小(ビルドに応じたスクラップ)を徹底する。 ② ソサエティ5.0として示される未来社会に対応するため、ICT(情報通信技術)を積極的に活用した行財政運営、行政情報のデジタル化を推進していく。 ③ 既存概念にとらわれない柔軟かつ機能的な組織づくりをしていく。 ④ ビッグデータやAI(人工知能)技術を活用し、区民ニーズを把握する。 <p>(2) 職員一人ひとりの生産性・能力の向上及び組織力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新しい技術を否定しない柔軟な発想を持つ人材を育成していく。 ② 民間企業のノウハウを持つ外部人材の登用する。 ③ 経営感覚に優れ、事業改善に積極的な人材を育成していく。 ④ 職員の情報リテラシーを向上させる。 <p>(3) 施設数の削減・施設コストの抑制・安全・快適さの確保・老朽化した施設(特に学校施設)の適切な更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校の計画的な更新を進めるとともに、教育環境の充実、地域活動拠点としての機能集約、防災機能の強化の観点で効果的・効率的な活用方法を検討していく。 ② 民間活力を活用した施設整備により、維持運営コストの削減を図る。 ③ 区が保有する施設数の適正化を図る。



審 議 会 ま と め	3 審議会での主な意見	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「経営感覚に優れた」職員の育成は必要な視点だが、時々々の社会経済状況における行政ニーズに的確に対応できること、「公」としての経営感覚がより重要と考える。 ○ 区民からの要望が高い、「防災対策の強化、高齢者・障害者にやさしいまち、子育て支援」の視点を区有施設の見直し等にも活かした方がよい。 ○ ハード面の整備に終始するのではなく、社会的ニーズやこれからの地域コミュニティ像などを検討しながら、ソフト面も含めた施設再編を行うことが必要である。 ○ 施設の更新について、専門知識を持つ人だけでなく、区民の視点も入れる方がよい。 ○ ベテラン職員の大量退職による組織力の低下を招かないよう、高齢者の再任用などにより組織力を維持することも考えるべきである。 ○ 全国的な人口減少に対して、目黒区は今後人口が増加していくというビジョンもあってよい。 ○ 人口動態は、自然増減だけではなく社会変動や開発の影響、外国人の流入などの影響も考えられる。ダイバーシティの問題等も考慮すべきである。 ○ 「他区との連携」「財政難」の観点から、近隣区を含めた施設の集約化を検討してはどうか。 ○ 今後生産年齢人口の減少による税収減を考えると「強固な財政基盤」という表現より、いかなる時代であれ安定的に運営できるような財政基盤を築いていくといった表現の方が適切ではないか。 ○ SDGs(持続可能な開発目標)の要素を盛り込んだ方がよい。 	
	4 行財政運営分野の概ね20年後の区の将来像やあるべき姿 【キーワード】	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時々々の社会経済状況における行政ニーズに的確に対応できる職員・組織 ○ 先端技術の活用などによる職員個々の生産性の向上 ○ 職場で蓄積してきた経験も活用した組織力の強化 ○ 時代変化に応じて、安定的に運営できる財政基盤の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区民ニーズをとらえた区有施設見直しの推進 ○ 社会的ニーズやこれからの地域コミュニティ像などを踏まえた施設再編